

学校長式辞

まさに春爛漫の中で咲き誇る満開の桜の花が、今日ここに集う全ての人々を祝福してくれています。このような素晴らしい日に、ご来賓、そして保護者の皆様のご臨席のもと、第23回木更津総合高等学校入学式を挙げていただけますことを、心より御礼申し上げます。

そしてただいま入学を許可いたしました717名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、心から歓迎いたします。皆さんが数ある高等学校の中から木更津総合高等学校を選び入学してくれたこと、そしてこれから3年間を皆さんと共に過ごすことのできることに感謝します。

木更津総合高等学校は開校以来、「真心教育」という建学の精神のもと、社会で愛され必要とされる人材の育成のために、心の教育を最重視してきました。「真心教育」の理念は、本校創立者である真板益夫先生が提唱したもので、木更津総合高校のみならず、学校法人君津学園70年以上の歴史にわたって継承されてきた創立の原点です。真心教育の目指す教育目標・人物像は3つあります。

1つ目が「社会の良心になれ」。これは、社会の正義のために人間として正しいことを貫き、まずは自分自身の幸せではなく、だれかの幸せのために行動できる人になってほしいということです。

2つ目が「困難にくじけない逞しい人間になれ」。これは、自らの志に向けて前に進んでいる中で困難に直面した時、その困難を避けるのではなく、困難に立ち向かって克服していく気概を持ってほしいということです。

3つ目が「大いなる真実の自己に生きよ」。これは、嘘偽りのない正直な人間であってほしい。自立心のある自分に誇りを持った人間になってほしいということです。

これら3つの教育目標を達成し、皆さんが真心の人に成長していくために、木更津総合高等学校は、万全の環境・体制を持って皆さんを迎えています。自然豊かで広大なキャンパスの中にそびえ立ち、充実した施設設備の整った校舎と運動施設。プロフェッショナルとしての熱意と経験を兼ね揃えた130名もの教職員。皆さんの個性を生かし伸ばす、コース制や総合選択制といった教育制度。そして活気ある学校行事や課外活動。そして何よりも、2000名を超える、様々な地域から集まった個性豊かな仲間たち。皆さんはこれら全てを3年間で大いに味わってください。高校生活3年間という、一人一人に与えられている時間は平等です。そしてその時間の使い方は自由ですが、3年間をどのように過ごすかで、皆さんの未来は劇的に変わります。

さて、その高校生活3年間の過ごし方について、新入生の皆さんに心掛けてほしいことを2つお話します。

1つ目は、高校生活の中で、何事にも勇気をもって本気で挑戦してほしいということです。日本の将来は、少子高齢化・人口減少・グローバル化などによって、これまでに経験したことがない時代の到来が予想されます。新型コロナウイルスの世界的蔓延や、ロシアによるウクライナ侵攻のような不測の事態もあり、時代の変化は、誰もが予想できない形

で劇的な速さで進行していくでしょう。そのような時代に必要とされる人材は、広い視野による新しい発想と挑戦する勇気をもった人間です。皆さんは是非とも3年間の学校生活で色々なことに本気で挑戦してください。木更津総合高校には、他のどの学校にも負けないたくさんのチャンスが用意されています。現時点での好き嫌いや興味のあるなしで、やることとやらないことを取捨選択するのではなく、目の前にある色々なことに挑戦してください。そしてたくさんの失敗をしてください。人間は成功するよりも失敗することで、むしろ大きく成長することができます。成功の反対は失敗ではありません。挑戦をしないことです。そして、失敗を恐れず本気で取り組むという経験によって、皆さんの人間性が育まれ、将来の可能性が広がります。ただ楽しい毎日を送る高校生活ではなく、辛さや苦しさも含めて何かに本気で取り組んだ3年間は、必ずや皆さんのこれから先の人生を支える心の土台となるでしょう。

2つ目は3年間で良い習慣を身に付けてほしいということです。挨拶や正しい身だしなみ、規則正しい生活といった基本的な生活習慣から始まり、勉強やクラブ活動にメリハリをつけて取り組むことなど、良い習慣を身に付けるためにはトレーニングや繰り返しが必要になります。容易いことではありませんが、3年間の学校生活を通じて習慣として身に付いたことは、皆さんが社会に出た時に大きな武器となることもあれば、それが悪い習慣であれば弱点となることもあります。悪い習慣は勇気をもって断ち切り、善い行いは意識して習慣付けていくことが大切です。

以上2つが私から皆さんに贈る最初のメッセージです。

さて保護者の皆様、あらためましてお子様のご入学おめでとうございます。本校では教職員が一丸となって、生徒一人一人が確かな学力や知識技術を身に付けるのみならず、社会のルールやマナーの習得など、社会で愛されて必要とされる人材の育成に努めてまいります。しかしながら子供の教育は、学校だけでできるものではありません、家庭と学校が一致協力してはじめて達成できます。そのためにも、本校の教育方針にご理解いただき、ご家庭ではお子様とのコミュニケーションを積極的にとる中で、特に学校での生活について話を大いにしていただけると幸いです。また、学校での行事の際には学校にお越しいただき、お子様の活躍を見ていただきますよう、お願い申し上げます。そして懇談会や面談の機会に限らず、何かお気づきの点がありましたら、学校にお知らせください。

結びに、3年後、新入生の皆さんが卒業する時に「木更津総合高校に入学して本当に良かった」、そして保護者の皆さまからは、「子供を木更津総合高校に通わせて本当に良かった」と笑顔で言っただけのように、教職員一同、責任を持って全力で教育にあたることをお誓い申し上げます。

令和7年4月9日

木更津総合高等学校
学校長 真板竜太郎